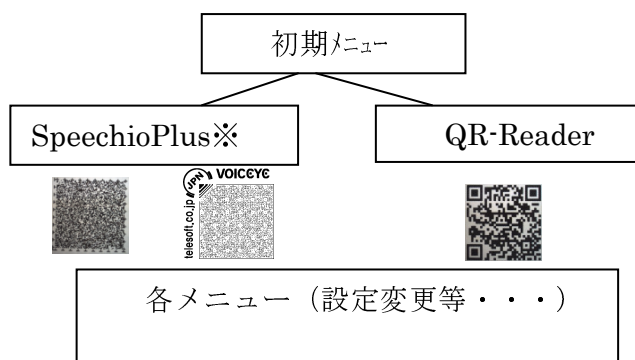


SP-CODE Reader (SpeechioPlus) QR-CODE Reader (新たに開発)

初期メニューで SP-CODE を選択すると
SpeechioPlus が起動する。
QR-CODE を選択すると QR-Reader が
起動する。



※SpeechioPlus のプログラムは新ハイスペックコードを
読ませた場合自動判別する為、同じメニューから読上げが
出来るようになっている。

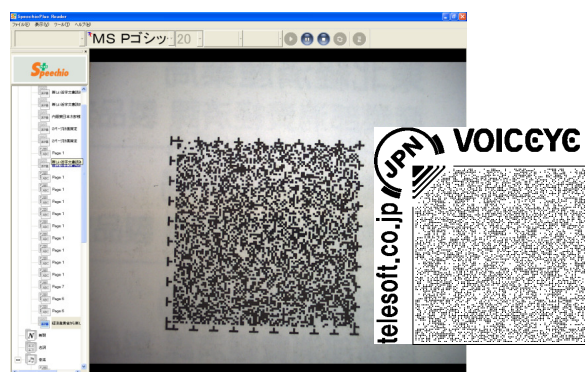
<例>

ア. SP コードと新ハイスペックコード

次頁にある、音声コード入りのサンプルを PC 接続型音声装置読み取り機器で読ます事により音声
の出力及び、PC 画面上への出力ができる。

※上部が新ハイスペックコードで下部が SP コード

SpeechioPlus 起動画面
※SP コードと新ハイスペックコード
の読み取り



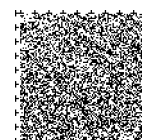
QR-CODE Reader 起動画面



サンプル

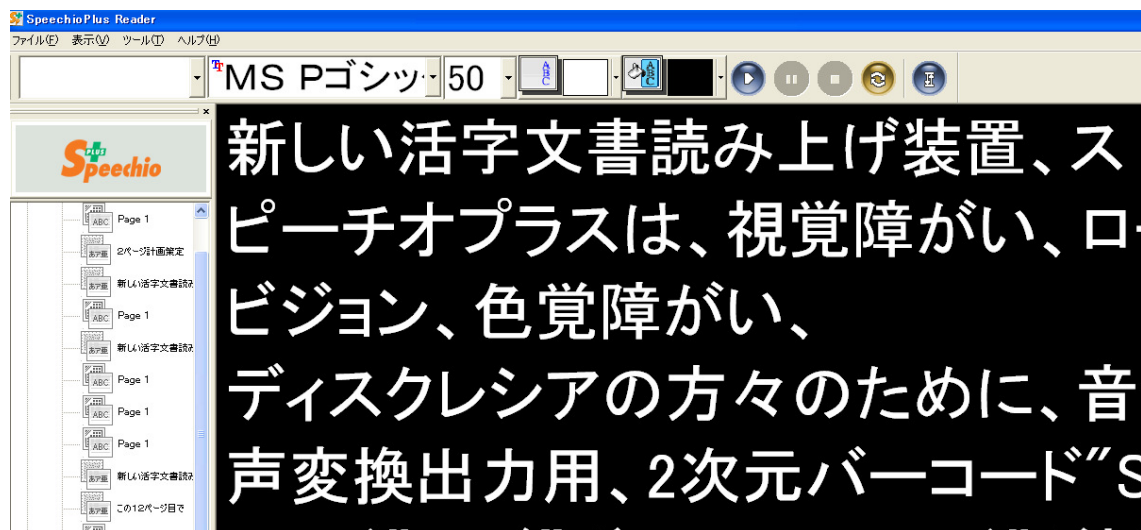


新しい活字文書読み上げ装置、スピーチオプラスは、視覚障がい、ロービジョン、色覚障がい、ディスレシアの方々のために、音声変換出力用、2次元バーコード”SPコード”及び”新ハイスペックコード”が挿入された印刷物をスキャナーとパソコンを使って読み取り、印刷物の内容をパソコン画面上にテキスト表示するとともに、音声で読み上げる装置です。



➡ ♪ 音声出力 ♪、画面表示（弱視向けに拡大反転表示）

※SP コード、新ハイスペックコードの表示画面は、共通のプログラムなので同じものになる。



また、前頁のサンプルにて同サイズの SP コードと新ハイスペックコードを組み込んだが、この 同サイズで SP コードは最大約 800 文字を取り込めるが、新ハイスペックコードの場合は、最大約 1,500 文字の情報を取り込める。

イ. QR コード



<http://www.telesoft.co.jp/>



上記 QR コード内に納められた文字情報が音声出力され、右にある PC 上の画面に表示される。

（弱視向けに拡大反転表示も可能）



1-1 PC 接続型機器：今後の展開

今回、開発した PC 接続型は、3 種類のコード（SP コード、新ハイスペックコード、QR コード）を読み取り、音声出力、画面出力（弱視障害者向け）出来るようになった。今後、視覚障害者にとって利用出来る環境が広がって行くと考えられる。

更に、個人だけではなく、自治体の窓口や、公共の場に設置される事により、視覚障害者が出先でも健常者と同じ様に情報をその場で得られる事になるので、自治体、公共施設へ展開し、この機器の普及を広げて行きたい。

また、QR コードに関し今後は、Web の URL を読み取った場合、直ぐにサイトを開き音声でガイドし、Web からの情報も簡単に得られる様にしていく。それを行う事により視覚障害者にとって効果的な情報機器となると考えられる。